

河道閉塞対応訓練を実施します。

四国山地砂防事務所では、土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律(土砂災害防止法)の改正により、国・県の役割が明確化されたことを受け、近い将来に発生が予想されている東南海・南海地震により、大規模な土砂崩壊による河道閉塞(天然ダム)が発生したことを想定して、下記の通り関係機関と連携して対応訓練を実施する予定です。

この訓練は、仁淀川に河道閉塞が発生したことを想定し、国・県・市町の役割の再確認や関係機関との連携強化と対応技術の向上により、迅速かつ的確な対応を行い被害を軽減することを目的としています。

1. 日 時

- ・平成23年1月26日(水) 13:00～17:00

2. 場 所

- ・すこやかセンター伊野(高知県吾川郡いの町1400)

3. 参加機関

- ・四国地方整備局(企画部、河川部、四国山地砂防事務所、高知河川国道事務所、土佐国道事務所、大渡ダム管理所)
- ・高知県(防災砂防課、河川課、地震・防災課、高知土木事務所、中央西土木事務所)
- ・高知市、土佐市、越知町、いの町
- ・高知県警察(警備部、佐川警察署、土佐警察署、いの警察署)
- ・陸上自衛隊第50普通科連隊
- ・仁淀消防組合、高吾北消防組合
- ・高知大学(講評)

4. 訓練方法

- ・参加機関が同一会場に集合し、演習型図上訓練とします。
- ・災害発生後の時間経過を追って、想定される事態等の災害条件を各機関ごとに加え、実施すべき最適な対策内容等を考えながら進める訓練とします。

平成23年1月12日

国土交通省四国地方整備局
四国山地砂防事務所

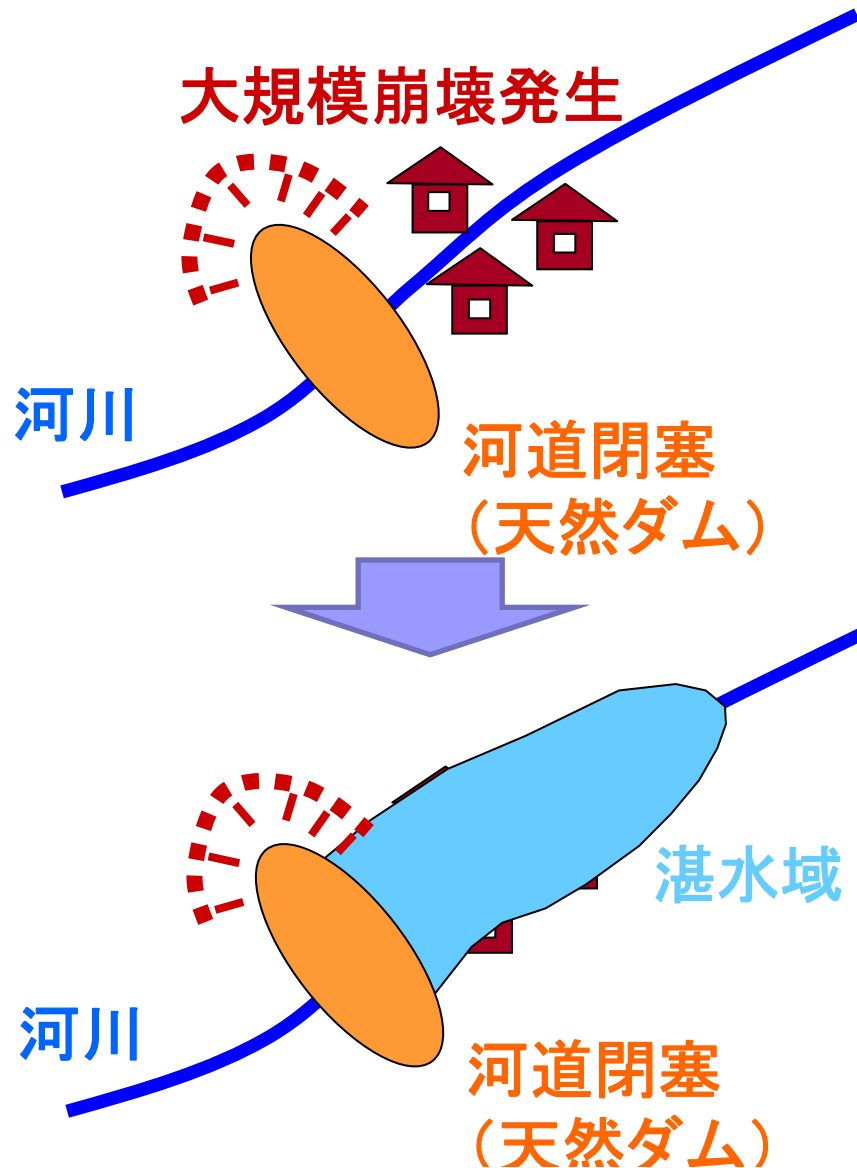
問い合わせ先

国土交通省 四国山地砂防事務所

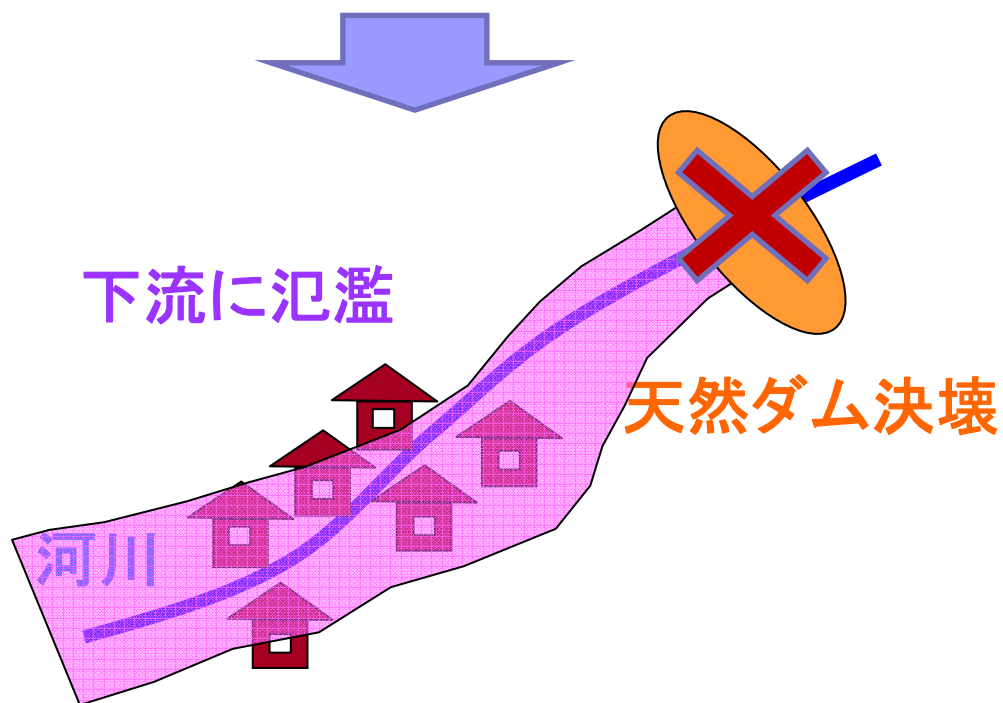
TEL 0883-72-5400(代表)

副所長 武本 謹二(たけもと きんじ)(内線 204)
調査・品質確保課長 田木 康熙(たき やすてる)(内線 351)

河道閉塞(天然ダム)による災害の特徴



- 地震などにより河川沿いの斜面で大規模な崩壊が発生すると土砂が河道を閉塞し天然ダムが形成される。
- 河道閉塞(天然ダム)が起こると上流側では湛水により、人家がある場合は浸水、水没することになる。



- 湛水域が満水になると天然ダムが決壊して、大規模な土石流が下流を襲い、甚大な被害を与える。

河道閉塞(天然ダム)が確認された場合、まず第一に上流側、下流側の住民を避難させることが重要！
行政関係者等は危険性を十分認識した対応が必要となります。